

新図書館・資料館の建設状況

令和元年7月に着工した新図書館・資料館は、現在順調に建設が進んでいます。

新図書館については、求める図書館像を「地域と人と智がつながりともに成長していく拠点」と定め、従来の学習のための施設に加え、市民皆様が集い、交流できる居心地のよい滞在型の施設を目指します。

新資料館については、これまでの文化財資料を単に保存、整備、展示し来館者に観てもらおうという形式から、自然環境や文化的、歴史的環境の情報発信を行い、ここに来て学ぶというスタイルの確立を目指すとともに、ジオパークの拠点施設として位置づけ、ジオパーク活動の推進を図っていきます。

今回は新図書館・資料館の建設状況をお知らせします。
(令和元年12月27日現在)

新図書館・資料館

面積・構造	附帯施設（駐輪場等）を含む延床面積・・・3,525.04㎡		
	本体施設の延床面積・・・3,442.13㎡		
	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）		
請負業者 及び契約額	建築主体	熊野・宮成特定建設工事共同企業体	1,032,900,000 円
	電気設備	（株）山村電設工業	161,700,000 円
	空調設備	（株）山村電設工業	180,730,000 円
	給排水衛生設備	（株）川辺工業	45,980,000 円
	外構	未発注	
進捗状況	工期は令和3年1月29日まで		
	現在は基礎工事を行っている		
	外構工事は令和2年度発注予定		



建設中の新図書館・資料館

議員研修会を開催

令和元年11月28日、議会基本条例に基づき、議員研修会を行いました。

研修では、元大分県議会事務局長の渡邊秀一氏をお招きし、「仕事を通して学んだこと、考えたこと」と題して講演をいただきました。

ご自身の仕事上での経験談を交えて、とても貴重な講演をしていただきました。特に大分車いすマラソンが多方面に及ぼした影響や、県議会事務局長として議会運営に携わった話は、今後の当市の議会運営や議員活動の参考として学ばせていただきました。

今後も研修の充実に努め、能力の向上に努めます。



議員研修会の様子

人権研修会を開催

議員研修会と同日に人権研修会を行いました。

大分県人権問題研修講師の足立完治先生をお招きし、「人権感覚の高揚をめざして」なぜ差別は続くのか?と題して講演をいただきました。

人権三法の施行や人権問題に対する意識調査の結果などの現状を正しく学び、最近の社会事象に潜む偏見や差別などに気づき、さらに自身の人権に対する意識を見直すことにより、自分の心の豊かさや差別のない社会へつながると改めて感じる研修となりました。



人権研修会の様子